

第2回利用型社会福祉施設指定管理者選定委員会 議事録

日時 : 令和6年9月19日(木) 13:15~15:10

場所 : 県庁11階会議室

出席者: 藤居委員、大信田委員、山下委員、葛巻委員、砂田委員

事務局: 地域福祉課 平賀生活福祉担当課長、菊地主事

障がい保健福祉課 佐々木総括課長、谷藤主事

子ども子育て支援室 金野子ども家庭担当課長、鷹木主任

1 開会(地域福祉課 平賀担当課長)

2 審査の進め方について

スケジュール・採点方法等について、事務局より資料に基づいて説明。

3 面接審査

申請書類及び申請者が用意したパワーポイント等に基づいて申請者から説明。

委員からの質疑応答について以下のとおり。

(1) 岩手県立福祉の里センター

【大信田委員】

B型の工賃は月額いくらお支払いですか。

【大洋会】

一番高いところで3万5千円前後、少なくとも1万2千円ちょっと。

【大信田委員】

1万2千円のところもあるんですね。

【大洋会】

はい。精神の方で利用が多い方が、どうしても出席率が低くてそのようになっている。

【大信田委員】

B型の定数はどうですか。

【大洋会】

定数は埋まっていますけれども、日々の利用は8割7割といったところです。

【大信田委員】

職員に障がい者の方の雇用はしているんですか。何人ですか。

【大洋会】

里センターには1人、身体の方がいますし、星雲工房の方では障がい者は2人、四季の郷では1人、他の事業所では相談の方で身体の方が1人いらっしゃいます。

【藤居委員長】

134ページ(4)に福祉の里センター利用状況という資料をいただいていると思うのですが、工芸室の利用人数が0人とあって、ホームページの方拝見していたら、七宝窯があるよう

なのですが、窯の部屋は七宝以外にも使えるのでしょうか。

【大洋会】

使えます。3階の日当たりのいい部屋になっておりまして、エアコンとかがない部屋になっておりまして、部屋はそんなに広くないです。何かやるとなれば、どちらかというところ下の冷暖房がある研修室ですとかを使って快適にやるということになっておりまして、工芸室の利用がないという状況です。

【藤居委員長】

わかりました。写真だけ見ると、木のぬくもりがあってよさそうに見えて、手芸とか他の利用ができるのかなと思って伺ったのですが、確かに暑そうですね。

【大洋会】

景色は大船渡の山々が見える場所にあるのですが、冷暖房設備がないという状況です。

【砂田委員】

主催事業に関して、これまでと比べて、これ以降、新規といいますか新しいチャレンジを考えていることはありますか。

【大洋会】

現在はないのですが、ボランティア体験や福祉体験ができていない、弱い状況がありますので、新しい形でできないかと考えていました。今はお子さんたちもなかなか、忙しいようできて、土曜日日曜日にやりたいというところはあるのですが、今度通所ホームがお休みになっているということで、子どもさんたちと時間を合わせるのが難しいということが今までの課題がありました。やはり夏休みか冬休みかなと、もしくは春休みかなというところでの開催がよいのかなと考えていて、来年度からは取り組んでいきたいと考えています。ただお子さんだけでなく、大人の方々も巻き込みたいと考えています。ただ、ボランティアの募集というとなかなかピンとこない。きっかけはハローワークさんから、職員等の募集を出したときに、生活支援員や職業相談員と書かれてもピンとこないという話をされたことがありまして、何かいい方法がないかなと思ったときに福祉の里センターには福祉体験、ボランティア体験というものがあるので、福祉の里センターで集めて、大洋会の施設だけではなく、隣には老人ホームの施設もありますので、職業体験をしていただければ雇用といいますか、なかなか福祉現場は集まらないというところで、人を集めることにつながればなと思っています。名前がこれとは決まっていらないのですが、「職業体験ボランティア」というようなもので、施設の方での職業体験、ボランティア・支援を職業体験としてやっていただくことによって、施設の理解をしていただくのも一つあるかなと。こちらを来年度から取り組めればなと思っています。

【砂田委員】

それは大人向けのものになりますよね。単発、1回の研修でOKという形ではないと思うのですが、例えばセミナー形式のような形で年何回といった構想まではあるのでしょうか。

【大洋会】

構想まではまだないですが、協力していただける施設さんと今後話しをして、どれくらいできるか、日程とかその辺を調整してしていきたいなと思っておりました。子どもさんたちはやはり長期休みの平日でないと厳しいのかなと、できても3回かなと思っておりました。

【葛巻委員】

サービスの向上について、クレーム対応について触れていただいているんですけども、マニュアルやクレーム対応のフローというものは作っていらっしゃるんですか。

【大洋会】

マニュアルというものはありません。

【葛巻委員】

例えば、窓口の方が受けたら、どのように解決までいくのでしょうか。

【大洋会】

所長の方へつなぎ、内容を精査しまして、所内で確認できるものであれば所内で対応しますし、県の方で対応が必要かなというものについては県の地域福祉課さんに相談し、対応についてアドバイスなり対応の仕方をご指導いただくという形をとっております。

【山下委員】

利用を促進していくために、利用者や地域のニーズを聞いて運用していくのがいいのではないかと。こちらがこれがいいんじゃないかと思っても、利用者のニーズがそこじゃないとか、もったいないです。いい施設ですので、利用者の方を集める取り組みをしていけばいいのではないかなと思っています。

【大洋会】

わかりました。アンケートもとらせていただいていますので、宿泊の方々もそうですけれども、主催事業でやっていただいている方にもできればアンケートもお願いしていますし、小学校に出向いてやる時には、小学生さんの感想もいただいておりますので、見ながら、今後どうしていくかの協議をしております。あとは年に1回、福祉の里の運営協議会をしております、利用されている代表の方ですとか、地域の婦人団体さんですとか、関係機関に来ていただいて、利用についての御相談・御指導いただいていることはありますが、皆さん遠慮されているようで、厳しい意見は申し上げていただいておりますので、正直甘んじているところもあるのかなと思いますが、皆さんの声を聴いてよりよいものにしていければなと思っております。

【藤居委員長】

最後に質問したいのですが、長年にわたって管理をされていると思うので、管理の工夫をされてこういったことはうまくいったケースがありましたら教えてください。

【大洋会】

最初指定を受けた時は利用者も多くて、まもなく震災があつて、震災の方々の利用がどんどん増えて、一気に福祉の里センターの業務が増えて、復興事業がだんだんと終わってくるとともに下り坂なところにコロナということになりまして、なかなか、当初からよくな

っているというのは実感としてないのですが、リピーターさんが多くて、施設が立派ですねとか、利用料金が安いというのがあるのですが、我々職員の対応をお褒めくださるリピーターの方がいてそこは引続き綺麗にする、そこだけは続けていきたいと思っています。利用を増やすためのいい対策には悩んでいるところでして、外部の意見ということで岩手県とか大船渡市にもお話いただいて、もっと必要であれば住民の方々、たくさん利用されている方の意見をもう少し吸い上げるような形をとっていくしかないのかなと思います。アンケートにあるように、それに対する改良は都度都度やっております。なかなかできていないのは Wi-Fi の設備があればいいなという声には対応できていません。市内の他の施設には Wi-Fi が整っている施設がありますし、負けじとではないですが、やはりその対応はとっていかないとわざわざ山の頂上でアクセスがあまりよくないところにありますので、やっていければなど考えております。

(2) ふれあいランド岩手

【藤居委員長】

いただいた資料の 17 ページになるのですが、1 施設の利用促進、(1)③のリピーターの確保というところで、ア 割引率の高いプールやトレーニング室の利用回数券の導入のところで、ホームページに来月からの改訂表が出ていたのでそれを拝見したのですが、プールの回数券とトレーニングルームの回数券の 5 回と 11 回の割引率が 4 つ全部バラバラなんですけど、その算定基準はトレーニングルームの方が稼働率が高いからとか、何かそういう理由はあるのでしょうか。

【県社協】

回数券に関しましては、割引率は通常の利用料金よりも、割引率は高いんですけども、特に、回数が多い方が割引率が高くなっていうことではないんですけども、今まで回数券を導入したときの、割引率を踏襲しているというか、特にトレーニングルームが利用者が少ないからとか、スポーツが多いからとかということではなくて、県と今まで調整してきた中で割引率をそのまま継続しているという形になります。

【藤居委員長】

もう一つお伺いしたいのですが、様々な施設、細かい資料がなかったと思うのですが、例えば陸上競技場とかテニスコートとかアーチェリー場とか、施設別に管理の大変さとかが違うと思うのですが、今現在の管理者として、このフィールドの管理で困っているとか、それを、このフィールドに関してはこういう管理の工夫を次したいとか、そういう過去と未来に関してございましたら、何か事例を示してください。

【県社協】

今いえるのは、テニスコートの、人工芝なんですけれども、今年度、ちょっとやはり、芝の方が剥げたところがありまして、陥没したところがあって、やはり業者に見てもらおうと全面の張替えが必要だということを言われるのですが、防風ネットも、実は周りの方、

かなり砂を入れているのですが、風が入ってくると、どうしても、陸上競技場であったり、駐車場であったり、道路の方にまで流れていますので、そういった意味では、もちろんテニスコートの料金は結構料金高いんですけど、管理のために必要な経費として料金の設定とかそういったものは、今後も検討していく必要があるかなととらえています。

【大信田委員】

20 ページで、アンケートの中に、要望とかないですか。こんな要望があったとか、その要望に対してこう答えた、今悩んでいることはこうだといったものは。

【県社協】

まず利用者の要望にかけてなんですけれども、アンケートでは、令和2年から4年にかけてはやはり新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、利用者間のトラブル、大声で話す、マスクなしでの会話、それからトレーニングルーム、プールでの会話が見受けられるので職員がきちんと注意して欲しい、管理して欲しいという意見が非常に多かったという状況です。

それに対して対応して参りましたし、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、利用者も少しずつ戻ってくる中で今度は施設設備に関する意見、提言が増えています。

主なものとしては、プールの更衣室の脱水機、水着を脱水して帰りたいという御要望がでてきたり、それから利用のときにコンセントを増設しドライヤーをかけたいという御要望、それからトイレにユニバーサルトイレを設置して欲しいという御要望がございました。

これに関しまして、脱水機に関しましては、各更衣室、男女・家族更衣室に脱水機を設置させていただきましたし、コンセントの増設、これは電気業者に入ってもらって増設して、利用者に使用してもらえよう形をとっております。

そして、ユニバーサルシートに関しましては、やはり、今のトイレの設計上、設置が非常に難しいので、県と協議して今後工事を検討していただくこととしています。

【大信田委員】

もう1つね。アスレチックの訓練室がありますね。運動を訓練するところ。あその中にこういう機材があったらいいという要望はないものですか。こういう障がいに対してこんなものがあればもう少し運動機能が上がるんだとか。特殊な何か機能を設置して欲しいとか。

障がいの方に特化して言われるっていうことは、特段ないんですけども、機材全部が30年使っているの、劣化状況がひどいので、新しくして欲しいという要望があります。

アタッチメント、足を固定し、しっかり安全に運動したいという要望は、今検討している新しい機器を導入するタイミングで、障がいの方々も使いやすいようなアタッチメント、アクセサリを一緒に合わせて、購入を検討していきたいと思っています。

【砂田委員】

普段、私も利用させていただいて、本当にありがとうございます。見ているとすごく、利用されてる方々がいきいきとして利用されているということと、非

常にリピーターの方も多いんだなという印象を受けています。

それだけ安心して利用できているということはとてもよい施設だなと思っております。そんな中で伺いたいのですが、18 ページ(2)指定管理業務のうち⑥の相談事業というのがあるんですけども、実際に健康相談、体組成測定会はどれくらいの頻度で、どのような形で広報して、どのような方々が参加されているか。あとは、相談の内容っていいですか、どんなことが相談されていて、例えば、継続しながら関わっているとか、他のところにつながる可能性があるのかその辺を教えてください。

【県社協】

体組成測定という事業名では年1回なんですけれども、健康測定会という体力測定と抱き合わせて体組成を図るというものを合わせると年に2回となります。

継続的な日々のトレーニング或いは運動習慣の一環として、経過観察をしようという目的もありますので、出てきたデータによりけりで、過去10回分の記録を継続的にご覧にすることができますので、筋肉量だったり体脂肪量だったり、左右それぞれ見ながら、左右っていうのは、右腕左腕とか見ながら細かく分析しながらそのデータに基づいて、具体的に、相談に応じながら、その人の背景や痛みに寄り添いながら、実際は相談業務っていうのは、データに基づいて、その場で結果をお知らせしているという状況です。

実際はですね、施設を利用してる人が9割で、広報活動、SNS、ホームページ等でご覧になってそれだけにこられる障害の方がいらっしゃいます。施設からの御来館もあります。

【砂田委員】

健康相談というのは？

【県社協】

健康相談というのは、普段から看護師が在駐している、インテークという名目で行っているんですけども、今年度はそこからさらに枝分かれをして、医療相談が看護師、さらに医療ではなくって具体的なプログラムを作りたいとか、痛みに対する運動プログラム、運動相談は健康運動指導士が行うというふうにして、分業しながら行っておりますが、年間30回ぐらい看護師のほうではインテークを行っているというのが、大体の平均となっております。

【藤居委員長】

長年、30年管理をされているということで、管理を始められた当初と比べて、工夫をされる中で管理がうまくいったようなそういう事例があれば教えてください。

【県社協】

事例というほど具体的なことはちょっと申し上げられないところもありますけれども、障害者とか高齢者とか、基礎疾患を持つ利用者の方が多い施設でありますので、健康チェック、であるとか、感染症対策ですね。そういったものを万全にして、安全に安心してご利用いただける環境をつくるのが大事と考えておりまして、30年かけて取り組んできた。途中、新型コロナの発生などもありましたけれども、それなりにうまくやってきたと

考えています。

【葛巻委員】

高齢者の方だとか障害者の方以外の県民の方の利用という意味でもお伺いしたいんですけども、ふれあいランド祭りだとか、プチフェスティバルとかで、広く地域の方に、見ていただく機会って作ってらっしゃるんですけども、そういったことで参加した一般県民の方の、変化だったり、行動だったり何か聞いたことだったり、そういったことあれば教えていただければと思います。

【県社協】

一般の方が、ふれあいランド岩手っていうのをSNSでお祭りとかを知ってまず来てみる。初めて来てみて、こんないろんな年代の方がいるとは思わなかったっていうのがまず1件と、それから障害がある方もみんなこう販売してたり、一緒になって、その空間にいて、活動されてるっていうのを見て、それがすごく自然で驚いたとか、そういったところからふれあいランドにさらに興味を持っていただいて、プールを活用いただいたり、お祭りだけはもう毎年来たり、そういった広がりは見せますし、あと団体とかで、1度来て、私どももぜひ協力ブースに協力させてくださいといった広がりはずごくSNSとかの活用で幅を広げることができるなと感じております。

【葛巻委員】

やっばこう知っていただくだけでも県民の皆さんの意識だったりも変わるかなと思います。ぜひ進めていただければと思います。

4 審査結果の集計・決定・講評

(1) 岩手県立福祉の里センター

非公表

(2) ふれあいランド岩手

非公表

5 その他

【子ども子育て支援室 金野担当課長】

資料NO4に基づき今後の対応について説明。

6 閉会（地域福祉課 平賀担当課長）